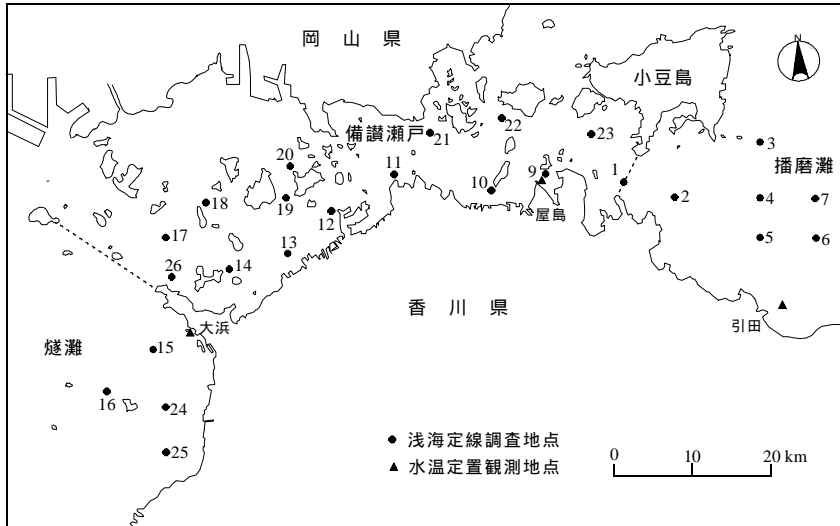


香川県漁海況速報 平成16年 9月 (H16- 6号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成16年9月2日(播磨灘)、10日(備讃瀬戸)、14日(燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みから著しく高め」、塩分は「かなり低めから平年並み」、透明度は「著しく低めからやや低め」、溶存酸素は「やや低めからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	26.7	26.8	26.6	31.4	31.5	31.7	3.6	4.03	3.77
	平年値	26.9	26.5	25.3	31.6	31.7	31.8	8.7	4.52	2.85
	平年偏差	-0.2	0.3	1.2	-0.2	-0.1	-0.2	-5.1	-0.49	0.92
	状況	平年並み	平年並み	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	著しく低め	やや低め	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	27.0	26.7	26.7	30.7	30.8	30.9	3.7	4.01	3.94
	平年値	26.9	26.7	26.5	31.5	31.6	31.9	4.5	4.32	4.07
	平年偏差	0.1	0.0	0.1	-0.8	-0.8	-1.0	-0.8	-0.31	-0.13
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	かなり低め	やや低め	やや低め	平年並み
燧灘	4地点平均値	27.2	27.0	27.1	29.8	30.9	31.2	4.9	4.93	3.33
	平年値	27.6	26.5	24.8	31.6	32.0	32.1	11.2	4.59	2.55
	平年偏差	-0.4	0.5	2.2	-1.8	-1.1	-0.9	-6.3	0.34	0.78
	状況	平年並み	平年並み	著しく高め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	著しく低め	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 (: 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差

各海域の観測日が離れたので、水温、塩分、透明度の等値線図は記載していない。

2) 定置観測(水温)

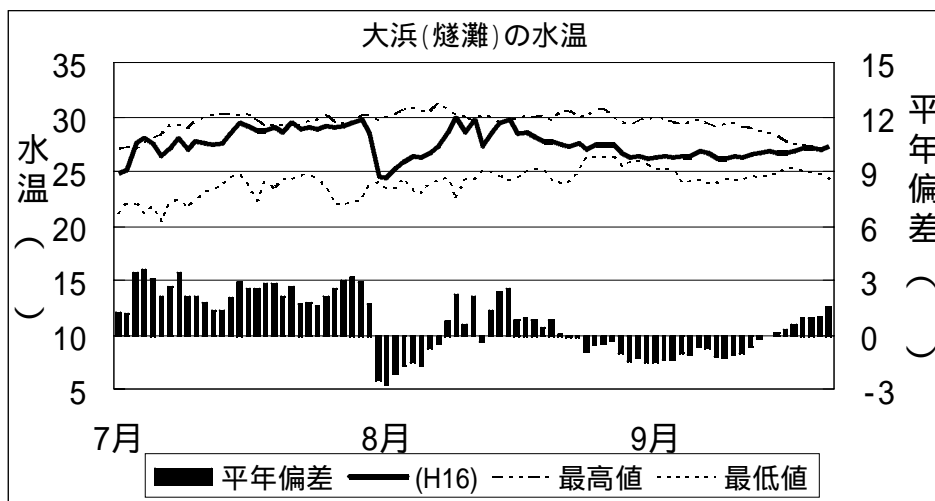
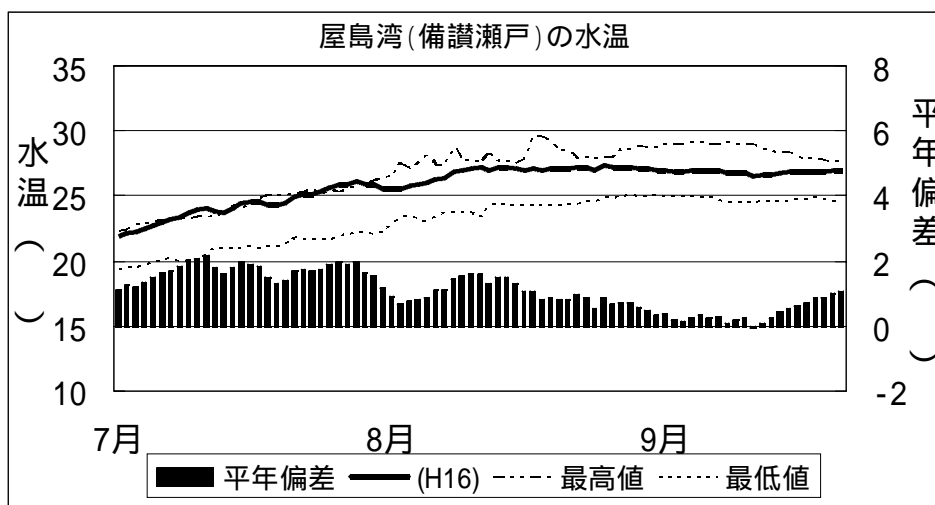
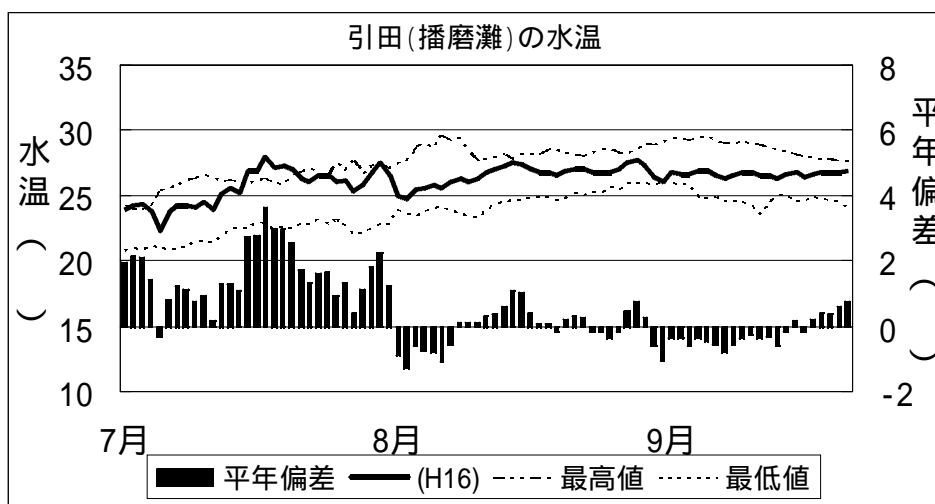
播磨灘(引田): 8月中旬から水温はほぼ横ばいに推移している。平年偏差は0前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 8月中旬から水温はほぼ横ばいに推移している。平年偏差は8月中旬から9月上旬まで小さくなった後、中旬から大きくなっている。

燧灘(大浜): 8月上旬に水温は大きく変動した後、ほぼ横ばいに推移している。平年偏差は8月上旬に大きく変動した後、8月下旬、9月上旬前後-1前後で推移した後、中旬から大きくなっている。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成16年9月2日（播磨灘） 10日（備讃瀬戸） 14日（燧灘）
 出現量 個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	3.50	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	7.80
備讃瀬戸平均	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	8.90	3.70
燧灘平均	3.40	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	3.70	3.40
総平均	1.77	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	6.60	4.73

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	18.6%	8.4%	-	-
備讃瀬戸平均	11.6%	23.3%	-	-
燧灘平均	21.9%	20.5%	-	-
総平均	19.5%	14.9%	-	-

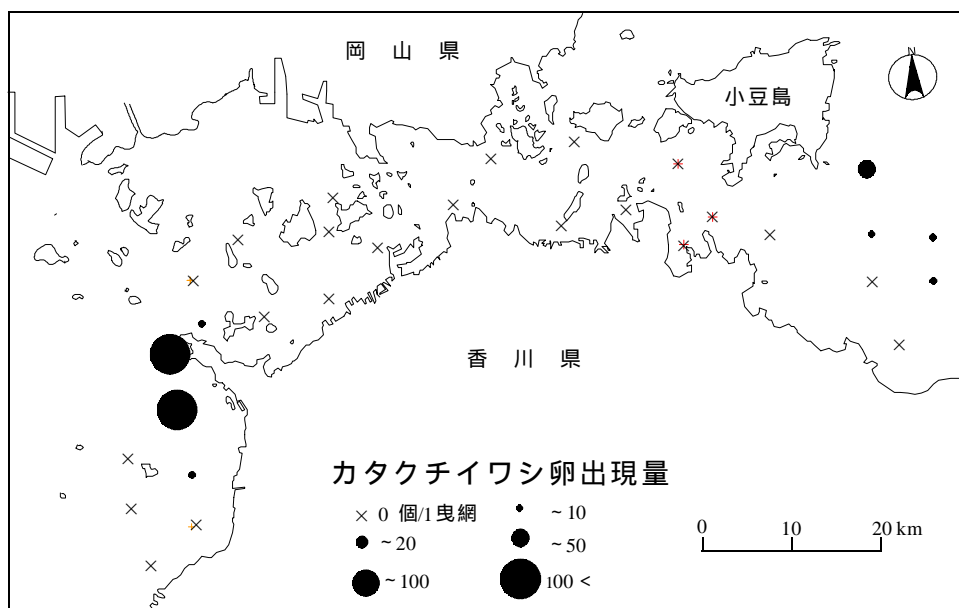
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成15（2003）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成15（2003）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2. 漁況

8月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にイボダイ、ハモ、ヤマトカマス、コウイカ類、小エビ類が漁獲されている。 ます網では豆アジ、タチウオ、スズキが漁獲されている。 大型定置網では、イボダイの仲間のメダイが漁獲されている。 シラスの船びき網は9月に入っても休漁状態が続いている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類が漁獲されているが、マアナゴは少ない。 マナガツオの流し刺網、込網は不漁なまま9月中旬で漁期が終了した。
燧 灘	底びき網では主に小エビ類、シロギス、アカカマス、コウイカ類、マダコを漁獲している。クルマエビは平年並みに漁獲されている イワシ機船船びき網は、台風18号の影響で加工場が壊れて出漁ができない状況である。